



爽やかな季節となってまいりました。全国の指笛を愛する皆様、お元気でお過ごしでしょうか。お天気の良い日にはどこかへ出かけたくくなりますね。さあ、今日はどこへ指笛を吹きに行きましようか。風に乗せてたくさんの音色を届けてください。

## 目次

- 1・新体制をスタートして ; 中村会長より ----- p.1
- 2・活動報告 ----- p.2
  - (1) 浅草 木馬亭に出演して...村山 壮人
  - (2) 「貴重な体験と大きな感動」...中澤 忍
  - (3) 第9回すぐそこ新座・春まつりで「指笛」パフォーマンスに大喝采...村山 壮人
  - (4) 第6回「みんなのおんがくかい」に出演して...植松 久美子
- 3・アンケート ～あなたにとって指笛とは～ ----- p.7
- 4・事務局からのお知らせ...有吉 憲行 ----- p.8

### 1・新体制をスタートして ; 中村会長より

2016年(度)事業計画(案)の中で「各地演奏会活動に出演」の第1弾として3月27日(日)東京善意銀行友の会主催の浅草演芸場「木馬亭」に指笛楽友会代表として出演希望者多数の中から、村山壮人さんとお孫さんの多胡一樹君(今年4月から大学生)そして楽友会会員の實力No.1と言わべき存在の杉田隆則さんの2組にご出演頂きました。

#### 第1弾

3月27日(日)浅草演芸場「木馬亭」にて。

村山さんとお孫さんによる演奏は、「宇宙戦艦ヤマト」と瀧廉太郎作曲の「花」の二重奏。

「宇宙戦艦ヤマト」は軽快なリズムに乗って楽しく演奏、「花」は息ぴったりの演奏で大拍手の中で終了。

杉田さんによる演奏は、ステージ演出満点の「MY・WAY」をたっぷり披露して頂き、指笛楽友会ここにありの素晴らしい出来栄であったことをご報告致します。

(齋藤、中村拝聴)

#### 第2弾

4月2日(土)3日(日)の二日間にわたり、野火止クラブの企画で、新座春まつりに、メンバーが多数参加し、素晴らしい「のぼり」のもと、指笛普及のため、

吹き方指導・ミニ演奏等が盛大に実施されました。

### 第3弾

5月7日(土) 第6回みんなの音楽会

練馬区生涯学習センターホール

13:00~16:00

参加者：有賀 猛、植松久美子、奥津恭子、片山陽一、河津菊枝、齋藤秀元  
中村倫二(指揮、全員奏)以上7名



くわしい活動報告は下記をご覧ください。

また、4月よりは、「少しでも楽譜が読めるようになろう!」との事で中村会長ご指導のもと、楽譜を読む勉強にも取り組んでおります。今後の成果に乞うご期待!

## 2・活動報告

### (1) 浅草 木馬亭に出演して

村山 壮人

3月27日は東京善意銀行友の会主催の、第24回「お楽しみ演芸会」に出演する機会を与えて頂き、誠にありがとうございました。会場が、由緒ある浅草木馬亭という事で、18歳になったばかりの孫(多胡 一樹)にこの舞台を踏ませてやりたいと思い、プロ仕様の舞台衣装を買ってやり連れて行きました。

どうせまともな演奏ができるわけがないんだから、せめて衣装だけでも恥ずかしくないものかと考えての事でしたが、「花」の低音部を正しく演奏してくれました。逆に私の方が三番の途中の大事なサビの部分の間違えてしまいました。

「宇宙戦艦ヤマト」は指笛に合った曲でもあり、軽快なメロディは聞く人を元気にさせてくれます。中東からヨーロッパでイスラム国と名乗る不逞の輩がテロを繰り返し、アメリカ大統領予備選挙では、共和党のトランプ候補が言いたい放題の発言で票を集めています。

日本では日銀の黒田総裁が初のマイナス金利を



発表して経済界が混沌としています。こんな時こそ「宇宙戦艦ヤマト」の歌詞もメロディもぴったりだと思って演奏してみました。

会場は百人位で満席の木馬亭でしたが、前の方の席のご婦人が涙目で拍手をして下さって、ほっとしました。

千葉では峯村純夫さんが「指笛の会」を主催し、沖縄では垣花譲二さんが「指笛王国」を主催して、共に 20~30 人で活躍しています。わが「野火止倶楽部」は埼玉県南部で主に若年層の育成に奮闘努力しています。

田村大三先生が創始した、「指一本の音楽」が、これからもっともっと多くの人に喜ばれ、世界平和に少しでも役立つように日頃の練習を励みたいと念じています。

## (2) 「貴重な体験と大きな感動」

中澤 忍

それは 3 月初めのことでした。前楽友会会長の斎藤秀元先生から電話を頂き、実は埼玉県を走る東部日光線沿線、杉戸高野台在住の男性で上田さんという方から「指笛の音出し」を習いたいののですが、大泉学園までは遠くて通えないので、誰かこちらの近くの在住で教えて下さる人を紹介してほしいとの事でした。そこでせんげん台に在住している、近くの私に白羽の矢を立てて下さったと思います。私で良ければと喜んでお受けしました。

早速に上田さんに連絡をとり、3 月 12 日（土）、寒い風の強い日でしたが、せんげん台で会い、練習に臨みました。上田さんは 7 駅を越して乗用車で駆け付けられ、意気込みが感じられました。近くの公園で約 2 時間<sup>ひたすら</sup>只管音出し練習をしていると、ピーというあの音が出て、上田さんは笑顔で大喜びでした。すっかりコツを習得されたようです。

上田さん曰く、実は私は鼻笛を演奏しますが、指笛はインターネットで知り指笛音楽創始者田村大三先生やメミ・グレースさんの演奏を何回も聴き大変感動して自分も吹きたいと思い、自分一人でいくら練習しても音が出ないので、今回のお願いになったとのことでした。

お別れに川の土手で「早春賦」を聴いてもらいました。初めて生の演奏を聴き感動しましたと、喜んで帰路に着かれました。

数日後、上田さんから電話があり、4 月 6 日（水）近くの古賀さん宅で午後 1 時より子供食事会を予定しているので、30 分間程指笛演奏をお願いしますとのことでした。子供 5 名大人 3 名位の出席予定とのこと。一瞬返答に困惑となり頭が真白になってしまいました。何故なら自分の技量の覚束ないこと、練習不足のこと、そして何よりも今までに只一人で人前で演奏したことも招待されたこともなく不安材料が次々と出て来てしまうからでした。返答に躊躇していると上田さんが一言、「子供達が指笛演奏を楽しみにしてお待ちしております」と



(3)

言われ勇気づけられ、演奏を快諾しました。

当日上田さんの案内で古賀さん宅に訪問すると、会場にはすでに子供達と大人の方々の総勢 25 名以上のお客様が来ておられ、古賀さんの奥様はじめ皆様から笑顔で迎えて頂きました。会場は古賀さんの自宅の洋間とピアノがある応接間を解放しての広い会場で、ここで時々ピアノやバイオリンやフルートの演奏をやっていますとのことでした。

古賀さんの司会で、これから指笛演奏を中澤さんから聴きます、静かにして聴きましょう、いつものように 10 秒間瞑想しましょうの合図で全員でやりますと、賑やかだった会場が一瞬静寂さになりました。どうぞ始めて下さい、お願いしますの挨拶で始まりました。

進行手順は自己紹介—演奏 3 曲「ないしょ話」「さんぽ」「さくらさくら」—指笛の吹き方、説明と練習—最後の曲、瀧廉太郎作曲「花」形式にしました。一部の自己紹介の部では大三先生の顔写真のある 2 枚の CD「田村大三指笛音楽 60 年」と「全地よ愛に帰れ」を見てもらい、先生の演奏姿を確認して頂きました。二部の演奏では突然の「ないしょ話」で、曲よりもどうして指で演奏出来るのか不思議そうな顔がほとんどでした。ご年配のご婦人は懐かしそうに歌っておられました。「さんぽ」は子供達がよく知っておりニコニコ顔でした。「さくらさくら」は古賀さん宅の見事な満開の桜の花を皆で観賞しての情景もよく、大きな拍手を頂きました。三部の指笛の吹き方は、大変賑やかな中での 20 分間練習でした。子供も大人も全員で指を口に入れ音出しに一生懸命でした。なかなか音が出ないので上田さんに吹いてもらいました。上田さんが音を出すと、おじさんも吹くんだと驚きでした。小学 3 年の女の子が弱い音ながら出て、会場がまた騒然となり大変でした。

後から尋ねた所、その子は上田さんのお孫さんだったとのこと、不思議さを感じました。お孫さんも大きな感動を受けたことと思います。四部のお別れには瀧廉太郎作曲「花」を演奏しました。指笛と一緒に全員で歌って終わりました。今日の拙い演奏にも係らず皆様から良かったと喜んで頂き本当に嬉しく思いました。そして近い日に元気な子供達に囲まれ、嬉しそうに指笛演奏されている上田さんの姿が目に見えたと大きな感動を頂きました。

これからもなお一層指笛練習に精進して、多くの皆様に感動を与えられるよう努めたいと思っております。これからも皆様の御指導の程よろしくお願い致します。最後に、この「貴重な体験」と「大きな感動」をつくる機会を与えて下さった斎藤秀元先生に深く感謝し心よりお礼申し上げます。



### (3) 第 9 回 すぐそこ新座・春まつりで「指笛」パフォーマンスに大喝采

4 月 2 日と 3 日の両日、埼玉県新座市の総合運動公園で行われた「春まつり」に、今年も「指一本の音楽・指笛」のコーナーを設けてもらい、10:00~15:00 の間、指笛パフォーマンスを披露しました。

メインの舞台は会場の真ん中にあり、たくさんの音楽団体やヒップホップダンスなどの演芸が披露されている中、50 メートル四方の菜の花畑のまん前で、一日中「指笛」を演

奏すると、グラウンドの向こうまでその音色は届き、「なんだ、なんだ、どんな楽器を吹いているんだ？」と人々は集まり、菜の花を摘みながら聞く人、通りすがりに見ていく人、ベンチに腰かけてしばらく聞きほれる人がいました。初日はピアノの生伴奏、2日目はCD伴奏で、ローランドのアンプスピーカーが威力を発揮しました。

長時間演奏できるチャンスはわが団体だけ。そこで3年前から同市在住の生田流箏曲の演奏家3人に、「琴」の演奏を頼みました。4~5曲は指笛と琴のコラボレーション。その荘厳な雰囲気と響きは用意したベンチを満席にしました。

今年は琴だけでなく、川崎から森田重夫さんが電気大学生・羅さんと一緒にスターウォーズのコスチュームを着て、子供たちと握手をしたり記念撮影に応じていました。指笛を演奏する時は顔を見せ、主にジャズ調の軽快な曲で若者をひきつけてくれました。

自らをスーパーマンではなく、「スッパマン」という磯谷 仁さんは、静岡県清水区から駆けつけてくれました。曲をリズムカルにアレンジし、人差し指を曲げて吹くだけでなく、人差し指2本、小指2本、人差し指と中指4本を使い分け、「いろんな指笛の吹き方があるんだよ」と、実演で教えてくれました。この演奏テクニックは大いにマネさせて欲しいと思いました。

磯谷さんの前に長蛇の列が出来たのは、牛乳パックをあっという間にハサミで加工し、紙飛行機を作って飛ばしてくれたり、ストローをちょいちょいと刻んで笛を作ってプレゼントしてくれたこと。その時のさりげない話術が子供たちをとりこにしたのです。幼児教育、



子育て、体育指導のプロが、無償奉仕で来てくれたことはこの上ない喜びでした。

常連メンバーでは、会長の中村さん、片山さん、小林さん、坂田さん、草笛の石塚さんがそれぞれ秘かな

練習成果を披露し、小、高、大学生の若者が演奏を始めると、「あらっ、子供にもできるんだ」と、通行人の足は止まり、「あさがきた」や「手のひらを太陽に」を歌と指笛で合奏すると一段と盛り上がり、拍手喝采でした。

野火止倶楽部 主宰  
むらやま さかと

5月7日(土)、練馬区生涯学習センターにおいて、NPO 法人健生会主催による「みんなのおんがくかい」が開催されました。晴天に恵まれ、爽やかな5月の風が薫る中、指笛の音色を地域の皆様にお届けする機会を得ることができました。楽友会からは7人のメンバーが出演させて頂き、各自の演奏に加え、全員演奏として、「上を向いて歩こう」「朧月夜」の二曲を演奏いたしました。「朧月夜」は低音部を加えての二重奏にて演奏いたしました。各自の演奏曲目は、演奏順に

「ラ・クカラーチャ」 「野に咲く花のように」 「遠くへ行きたい」

「高原列車は行く」 「アヴェ・マリア」 「雨に唄えば」 でした。

お揃いのユニフォームに身を包み、精一杯演奏させて頂きました。「雨に唄えば」では、傘を使つての楽しい振付もあり、会場は笑顔に包まれ、和やかな雰囲気となりました。

一部では、我々楽友会の他に、合唱・ハーモニカ等の団体の演奏が行われ、二部ではプロのゲスト出演者による、ピアノ・サックス演奏、能楽を鑑賞させて頂きました。

ピアノとサックス演奏では、ピアノの即興伴奏や、サックスの変わった音の出し方の説明もあり、興味深くお話を耳を傾けながら、素晴らしい音色に浸る事が出来ました。

能楽の演技では、難しい印象のある能楽ですが、初めに振付の意味についての解説があり、たいへん解りやすく楽しむ事が出来ました。

幅広く、音楽・芸術の世界をたっぷり堪能する事の出来た、素敵な一日となりました。



### 3・アンケート ～あなたにとって指笛とは～



あなたにとって指笛とは？  
楽しみ？苦しみ？生きがい？・・・？  
楽友会と練馬マウスミュージッククラブの皆様にご協力頂き、皆様の指笛に対する想いをお聞きしてみました。

- 人生の師、田村大三先生への恩返しの想いで、指笛になんとかつながっています。
- 遠くまでよく聞こえて、指のみで演奏できる！芸術。
- 奥深いものだなあ～。私は未だ未だだなあ～。
- MMCはむずかしい！やりがいがあります。がんばー。(いつになったら音が出るやら)
- 表現の楽しみ。
- ステキな指笛を聞いて自分でもできると楽しいと思い、やり始めましたが、色々と稽古事をやりましたが一番難しく思い、練習だけだと思い日々頑張っています。聞く事と吹く事は違うという事を思い知らされました。できるだけきれいな音で吹けるようにしたい。
- 今まで生活になかった音楽を、自分でやるという事が出来るようになったし、気持ちを明るい方に向けるようになってうれしいです。
- いろいろな方との出会いが、良い“シゲキ”になっています。  
自宅での指笛の練習時間が、一人になれる貴重な時間です。
- 指笛は和のイメージが強く、私は好きです。  
日本の歌をたくさん勉強しようと思います。
- 人種・年齢を超えて仲良くなれる。  
なにももたなくても音楽になる。  
非常の場合にも役にたつ。
- 分身。体の一部です。
- 大切な特技です。自分が吹きたくて演奏するのではなく、相手の気持ちになって演奏し、感動して下さったら嬉しいです
- 「生きる喜び」80歳で完成、とっていましたが、奥が深すぎてまたまた不成功ばかりです。あと5年は続けたいと思います。
- 指を利用すること、なんとも最高の楽器です。しかしながら5年経っても、草笛に頼っているせいか指笛が上達どころか、音もマトマラない次第です。
- 楽しみの一つです。  
イメージの通りに吹けた時にはとても（最高に）気分が良いです。
- 指笛はむずかしい・・・吹けたらいいなあ。
- 指笛発表会ではじめて音色を聴いた時、びっくりしました。  
「品が良く、純な心（魂）の響き」  
まだ音色も音も出ませんが、「なせばなる」の気持ちで頑張ってみます。  
(指笛を始めて10か月)
- 心のささえ。癒し。無心になれる。  
皆さんに聞いて頂ける喜び。



- 指笛と出会い、今後の人生が楽しくなってきた。  
楽器を忘れることなく、いつでもどこでも演奏出来るのが最大の魅力。  
聴いた人が驚き、指笛を覚えたいと思われる。もっと簡単にみんなが身に付く方法はないものだろうかと考え中。
- 指笛とは私にとって、力をくれたりなぐさめてくれたりする最良の趣味です。
- 自分だけの音。究極の音を探す旅。楽譜がなくても演奏できちゃう。そして、何より素敵な仲間との出会いを連れてきてくれます。
- 例えば悪いけど、覚醒剤を打ってその快感を忘れられず、ずっと続けたくなる魔物のようなものである。
- 自分をより豊かに成長させてもらえる、すばらしき友です。



アンケートにご回答下さった皆様、  
たいへんありがとうございました。



#### 4・事務局からのお知らせ

有吉 憲行

##### (1) 5月以降の予定

- ・ 5月22日(日) 13:00~17:00 25の会 勤労福祉会館 2階音楽室
- ・ 5月25日(水) 指笛の日 集合時間未定 光が丘公園、芝生広場
- ・ 6月25日(土) 13:00~17:00 25の会 勤労福祉会館 2階音楽室
- ・ 7月10日(日) 13:00~17:00 善意銀行チャリティショー 新宿三井ビル55広場
- ・ 8月14日(日) あかね音楽交流フェスティバル(細部未定) 光が丘あかねホール

##### (2) 「日本指笛協会」規約作成の進捗状況について

「日本指笛協会」名称使用の為の、規約作りが素案をもとに進められています。



この度初めて通信を担当させて頂きました。会長、前会長をはじめ多くのかたがたのご指導を頂き、なんとか完成させることが出来ました。感謝しております。また、原稿の提供にご協力下さいました村山様・中澤様、たいへんありがとうございました。何分不慣れなこと故、出来ばえについては何卒ご容赦下さい。

私は以前、新座市の老人ホームに勤務していた事があるのですが、その時、指笛演奏の慰問に来て下さった団体がありました。私が指笛を始めるきっかけとなった出会いですが、そのグループが、村山さんが代表をされる「野火止倶楽部」であった事を、今回知る事が出来ました。不思議なご縁を感じます。

今後も、この指笛に出会えた幸せを胸に、新しい出会いの輪が広がる事を願っています。

植松 久美子